
蛙

るうね

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蛙

【コード】

N6418H

【作者名】

るつね

【あらすじ】

夢の中に出てくる蛙。その蛙が少しずつ近づいてきて……。【『

夏のホラー2009』怖い話は好きですか?』 出展作【

また、あの蛙^{かえる}だ。

私が、その夢を見るようになったのは、いつ頃からだったか。はつきりしないが、母が死んでから、だったような気がする。夢を見始めた時は、多分、蛙だろうというぐらいの距離があったのだが、今はこちらを見つめる目や口の動きまで、はつきり見て取れるぐらゐまで近づいてきていた。

今夜も。

てらてら、ぬらぬらと鈍く光る体。かすかに腐臭のような嫌な臭いが、ただよってくる。

しかし、何より嫌なのは、その目つきだった。じ、とこちらを見ている。視線そのものが粘液であるかのように、ねばついた感覚を与えてくる。

気持ちが悪い。私は吐いた。何度も、何ども、なんども、ナンドモ。

「おい、おいつ、加菜恵」

目を覚ます。父親が心配そうに、こちらの顔を覗きこんでいた。

ぶん、と鼻につく、吐瀉物^{しぶいせつ}の臭気。

またか。

寝たまま吐いてしまったのだ。最近、こういうことが多い。

「やっぱり病院に行った方がいいんじゃないか？」

「ありがとう、でも平気よ」

「しかし」

「それより、シーツ洗わなきゃ」

私は、ベッドのシーツをはがした。
父親は、じ、とこちらを見ている。
「本当に大丈夫なのか？」
「大丈夫、心配しないで」
シーツを抱えて、部屋を出る。
「辛かったら、ちゃんと言っただぞ」
背に、父親の声がかかる。
「うん、分かった」
少し無理をして、元気な声で応えた。

蛙。

とつとつ触れられる位置まで来た。
私は横になつたまま、動けない。
口に、吸い付いてきた。
臭い。腐臭とねばついた黄色の液を残して、蛙は口を離した。

ぐえつ、ぐえつ、ぐえつ

笑って、いるのか。

襟元から、蛙が寝巻きの中に入ってくる。

「あ……」

乳房を舐められた。執拗に。私の息が乱れ始める。

「く、ふうつ」

乳首に甘い痛み。思わず声が漏れた。

蛙が、下半身へと移動していくのを感じる。太ももの付け根から
性器へ……。

「や、め」

私は、必死で声を紡いだ。

「やめてえっ！」

「大丈夫か、加菜恵！ おい！」

肩を揺すられる感覚に、目を開ける。青ざめた父親の顔。何度か呼びかけられ、ようやく意識が覚醒する。

「……お父さん？」

「夜勤から帰ってきたら、いきなりお前の声が聞こえたんだ」
本当に？ あなたは、本当に、いま帰ってきたの？

「どうしたんだ、いったい」

「なんでもない」

「なんでもない、って。すごい叫び声だったぞ」

「なんでもないったら！」

思わず、険悪な声が出てしまう。父親は鼻白んだ様子で、

「分かった。もし、具合が悪いようなら病院に」

「行くわ、行くから……一人にして」

父親は、心配そうな表情のまま、部屋を出て行った。

着衣の乱れを直し、私は手で顔を覆う。何かが蘇ってくる感覚。

鈍い吐き気に似ていた。

あなた、なのですか？

次の日、私は真新しい果物ナイフを買った。

蛙。

今日は、少し離れた場所に。じ、と視線を送ってくる。

私は懐に忍ばせた果物ナイフの感触を確かめ、ゆっくりと立ち上がった。

きよとん、と蛙。こちらに、ゆっくりと近づいてくる。

私は、やおら懐からナイフを取り出すと、蛙に突き立てた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6418h/>

蛙

2010年10月15日22時22分発行